

## なぐわし公園 —温水プールなど含む施設が整備へ—



なぐわし公園温水利用型健康運動施設 完成予想図

4月から本格稼働している資源化センターの西側になぐわし公園を建設する計画が進んでいます。

この一面に、平成24年完成予定で温水プールなどを含む施設を整備する契約が

9月議会で決まりました。市ではじめてのPFI事業には課題も

大和リース(株)を代表とする7社の共同企業体が契約相手で、契約金額は約62億円、民間の資金やノウハウを活用するPFIという事業形態での契約です。

施設内容は、温水プールの他お風呂、軽体育館、スタジアムなどで、地域や市民からの要望をもとに今後事業者が詳細な設計を行うことになっていきます。

川越市としては初めてとなるPFI事業ですが、全国では身の丈に合わない大規模な事業で破綻する例もあります。新しい方式です

から、長期にわたる今後の運営などについても住民目線が必要で

## 小畔川周辺の整備で提案

なぐわし公園の整備にとりなると、小畔川周辺の環境整備も課題です。東上線をはさんで上流側は埼玉県で整備が進んでいますが、下流側は整備されていません。また、なぐわし公園計画地の北側付近は上流と下流の橋間が長く、周辺の住民から歩行者が渡る橋の要望があります。

今後の対応について聞くと、市は、「水辺に親しめる川づくり」などの取り組みも進められており、地域

### 知っていますか？ 川越にもある冠水橋



もりやひろ子前県議と小畔川の下流にかがる冠水橋、鎌取橋を視察

## みなわごとくには

猛暑から一転、不順な天候で体調を崩されたりしていないでしょうか。9月市議会の報告をお届けします。

市議会の様子が部分的ではありますが、川越ケーブルテレビで放映されるようになりました。9月議会では私が行った4件の質疑も放映されました。今後



生かすために、視聴された意見などもぜひお寄せください。

## 米価暴落をきん

今年の猛暑は農業に大きな影響を与えました。稲刈りの日取りの心配こそ少なかったようですが、農家の顔は晴れません。生産者米価が昨年より大幅に下がっているからです。

「先祖が残した田んぼを自分の代でやめたくない」「手間賃も出ないし高くつく趣味だよ」などと話す裏には、できれば続けたい思いが伺えます。

私自身も妻の実家の田んぼを手伝っています。種まき、田植え、稲刈り程度ですが、大自然の中での作業は気持ちが良いものですし、地域の方もにこやかに声をかけてくれます。

## エッ、今度は保育料が!?

新市長のもと繰り返される負担増。今度は保育園と学童保育の分野で値上げが計画されているとのこと。今でも重い子育ての経済的負担。子育て環境をどのように整備していくべきか、みなさんのご意見もお聞かせ下さい。

やりたい人がきちんと続けたいける農政へ、思いを新たにしたい秋でした。



日本共産党  
市議会議員

かきた有一

議会報告  
2010年 No.4

市政・生活相談 ～お気軽にご相談下さい～

自宅 川越市小堤306-5 / 電話 090-7808-9234 / FAX 020-4669-8696

発行 日本共産党議員団 / 連絡先 川越市役所 日本共産党議員団控室  
電話 224-8811 (内線3636) / ホームページ <http://www.jcp-kawagoe.jp/>

# —建設的な提案で市政を動かす日本共産党— 市民のみなさんとともに

## 政策決定に市民の参加を

「住民に身近な開かれた市政をめざして」と題し、市政への市民参加と情報公開の問題を一般質問でとりあげました。

財政の厳しさが叫ばれ、市民への負担などが増える一方で、税金の使われ方に住民の関心が広がっています。このような中、全国の自治体の情報公開度の調査などが市民団体によって取り組まれています。

### 市民参加は重要

様々な政策の決定に関わる市民参加、情報公開

の必要性について市の考えを問いました。

市は、行政に対する市民参加は、市民意見箱への提案、審議会、タウンミーティングなどがあり、政策検討過程で市民から意見をきくことは極めて重要。その前提となる情報公開は積極的に推進したいと答えました。

### 負担増決定は市民が参加していない

しかし、川合市長のもとでおこなわれた負担増は、検討過程で十分に市民の意見が反映されてい

ません。その多くは、外部有識者、包括外部監査経営戦略会議など特別な方だけの意見が参考にされています。当事者・市民への十分な説明や意見を聞く機会はなく、会議も公開されていません。

### 予算編成過程を市民に公開すべき

昨今、政策の決定への市民参加が求められており、進んだ自治体では予算つくられる過程が公開されており、予算議会前にホームページで見ることができま

す。これをただすと、市は、予算編成過程には様々な段階があり、情報量が膨



大だとして公開に消極的ですが、平成23年度当初予算編成から予算編成スケジュール、予算編成方針など、できるものから早期に対応すると答えました。

さらに私は、審議会の運営について①傍聴の原則自由化②資料の持ち帰りを認める③傍聴者にアンケートをとり運営に役立てるなど改善を求め提案しました。

## 市民負担の一方で40億円余る

### 昨年度の税金はどう使われたのか

9月議会では決算議会とも呼ばれ、前年度の市の税金がどのように使われ

たかを示す決算が審査されます。平成21年度は、新市長になってはじめての市政運営でしたが、どのような1年間だったかが明らかにになりました。

### 次々に市民負担

健康長寿長寿奨励金の廃止、在宅心身障害者手当での削減、学校給食費の値上げなどの負担増が行なわれました。その後も市民負担は続いており、



毎議会で市民負担を増やす議案が出されています。財政が厳しいってホント? 40億円余る税金

福祉などに使う民生費が約8億円、保健医療や環境などに使う衛生費が約8億3千万円、教育費が7億2千万円使われず



### 厳しい市民生活に目を向けて

「埼玉県緊急雇用創出基金事業」が行われていますが、川越市は期待された役割を十分果たしていません。今後雇用の確保にむけて、積極的な事業申請が求められます。

### 9月市議会の経過

9月市議会は1日開会され、最終日の24日、平成21年度一般会計・特別会計決算認定議案はじめ、なぐわし公園温水利用型健康運動施設等運営事業契約など追加議案を含め34議案を可決し閉会しました。

日本共産党議員団は平成21年度一般会計、同後期高齢者事業、同介護保険事業、同公共下水道事業の決算認定議案、手数料条例の一部改正、重度心身障害者医療費支給条例の一部改正の6議案について市民負担になっていることから反対しました。その他28議案については賛成しました。